

令和2年12月24日

栃木県知事 福田 富一 様

一般社団法人栃木県老人保健施設協会  
会 長 矢尾板 誠一

「新型コロナウイルス感染症」に関する栃木県への要望について

本会の運営については、日頃から多大なる御支援、御尽力をいただき心より感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する介護老人保健施設における様々な施策を行っていただいていることに深く感謝いたします。

さて、感染症に対する抵抗力の弱い高齢者が入所・利用されている介護老人保健施設では、感染防止に向けた様々な取組みを徹底しつつ、介護サービスを必要とする方々の生活に寄り添った支援に取り組んでいるところであります。

しかしながらかねてより人材確保が困難ななかで長期間にわたりさらなる感染症対策の徹底が求められている上完全な終息にいたるまでは風評被害や冬季における更なるリスク管理の徹底が求められ、この厳しい状況が長期間続くものと思われまます。

このような状況の中で、新型コロナウイルス感染症に対応していくためにも、以下の要望事項について、速やかな実現に向けて、より一層のご高配を賜りますようお願いいたします。

記

○ PCR検査を介護老人保健施設医師からの要請だけで介護職員及び介護老人保健施設利用者が優先的に受けられるよう体制整備してほしい。特に、応援職員の派遣を行った場合の派遣職員については早急な対応を要望します。

また、県独自の財源で、介護老人保健施設等における職員及び利用者がPCR検査を受けられるように検査費への補助をお願いするとともに、抗原検査（PCR検査）のキットを配布願いたい。

○ 介護老人保健施設利用者（入所者）は多くが重症化ハイリスク群の方々であることに加え、大半で認知機能の低下を認める。このような方々を医療機関ではない介護施設内で対応することは困難を極めるため、介護老人保健施設の利用者というだけで差別的な対応を受けることなく、治療機関への適時適切な受け入れ体制の整備に留意してほしい。

○ 物資に対する支援については今後もどのような形で何が不足するかわからない状況であるため、物資が不足する場合においては対応していただきたい。

○ 感染拡大していく中で、感染予防の強化は非常に重要なため、介護老人保健施設において適切な感染予防策を講じるための支援を早急をお願いしたい。

○ 老健協と継続的な意見交換の場についてお願いしたい。